

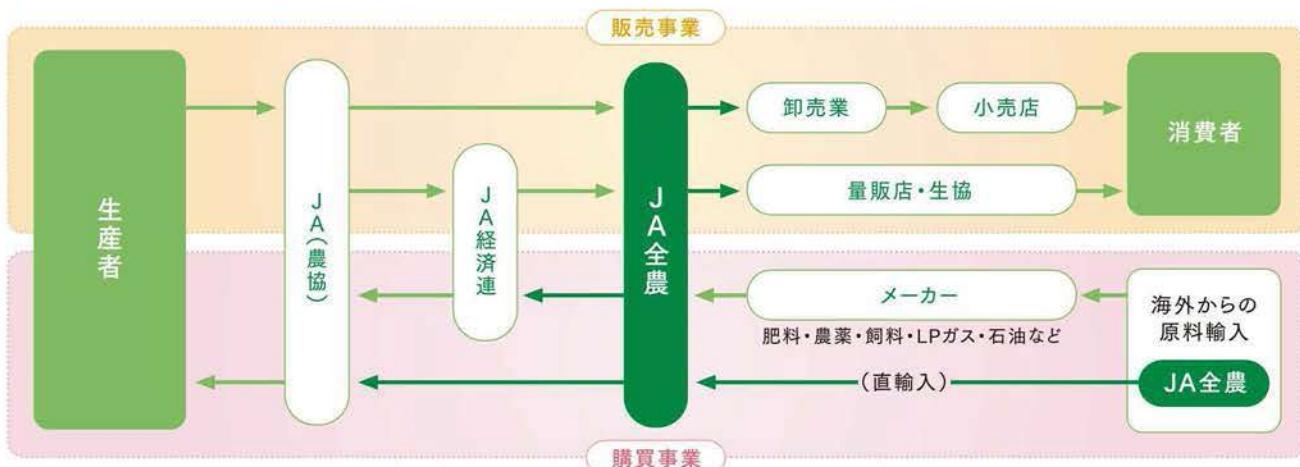
J A グループの組織とJA全農の事業

まず中心に「組合員」つまり生産者の皆さんがいらっしゃいます。それを取り巻くのが、市町段階のJAです。農家組合員の一番近くで農業生産に関わることや組合員の生活に関わる幅広い事業をしています。そして、JAのさまざまな事業を効率よく支援するため、都府県段階での連合会・中央会があり、全国段階での全国連があります。



連合会のうち、「経済事業」を担う組織がJA全農です。経済活動に関するさまざまな情報・技術・物資を効率的に使えるよう仕組みをつくり、国民全体に「食料」を供給するという役割があります。とくに近頃では、食を通じて消費者に「安全」「安心」といった「生活の豊かさ」を提供する役割も強まっています。

経済事業には、大きく分けて「販売事業」「購買事業」の2つの事業があります。



「販売事業」とは、農家が生産した農畜産物（米、肉、卵、野菜など）をJAを通じて消費者に届ける事業です。

「購買事業」とは、営農や生活に必要なものをJAを通じて組合員に届ける事業です。

取扱い品目は、肥料、農薬、飼料、農機など生産資材から、食料、燃料など生活用品まで幅広くあります。